

講演会・例会のご案内

(12月10日～2月9日)

カリキュラムコード(略称：CC)

医師のプロフェッショナルリズム	1	全身倦怠感	18	けいれん発作	35	胸やけ	52	不安	69
医療倫理：臨床倫理	2	身体機能の低下	19	視力障害、視野狭窄	36	腹痛	53	気分の障害(うつ)	70
医療倫理：研究倫理と生命倫理	3	不眠	20	目の充血	37	便通異常(下痢、便秘)	54	流・早産および満期産	71
医師-患者関係とコミュニケーション	4	食欲不振	21	聴覚障害	38	肛門・会陰部痛	55	成長・発達の障害	72
心理社会的アプローチ	5	体重減少・るい瘦	22	鼻漏・鼻閉	39	熱傷	56	慢性疾患・複合疾患の管理	73
医療制度と法律	6	体重増加・肥満	23	鼻出血	40	外傷	57	高血圧症	74
医療の質と安全	7	浮腫	24	嘔声	41	褥瘡	58	脂質異常症	75
感染対策	8	リンパ節腫脹	25	胸痛	42	背部痛	59	糖尿病	76
医療情報	9	発疹	26	動悸	43	腰痛	60	骨粗鬆症	77
チーム医療	10	黄疸	27	心肺停止	44	関節痛	61	脳血管障害後遺症	78
予防と保健	11	発熱	28	呼吸困難	45	歩行障害	62	気管支喘息	79
地域医療	12	認知能の障害	29	咳・痰	46	四肢のしびれ	63	在宅医療	80
医療と介護および福祉の連携	13	頭痛	30	誤嚥	47	肉眼的血尿	64	終末期のケア	81
災害医療	14	めまい	31	誤飲	48	排尿障害(尿失禁・排尿困難)	65	生活習慣	82
臨床問題解決のプロセス	15	意識障害	32	嚥化困難	49	乏尿・尿閉	66	相補・代替医療(漢方医療を含む)	83
ショック	16	失神	33	吐血・下血	50	多尿	67	その他	0
急性中毒	17	言語障害	34	嘔気・嘔吐	51	精神科領域の救急	68		

開催日	場所	名称	講師	単位・CC	問合せ先 参加費
12/10 (月) 19:15	ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城	メホルミンの処方意義を考える会 ～古き良き薬を再考する～ (日医生涯教育講座) ①メホルミン製剤 当院における使用状況 ②インスリン抵抗性と不妊症	①長田 光司(ながた内科クリニック院長) ②徳永 義光(医療法人杏月会空の森クリニック理事長)	①0.5単位・76) ②0.5単位・0)	(株)三和化学研究所 市川 智弘 098-867-0181 参加費 なし
12/11 (火) 19:00	沖縄県医師会館	沖縄腎フォーラム定例会 (日医生涯教育講座) ①文献紹介・抄読会 ②定例検討会	①未定(未定) ②未定(未定)	①1.0単位・9)15) ②1.0単位・1)73)	沖縄腎フォーラム 松原 隆 098-888-5552 参加費 なし
12/13 (木) 19:00	宮古地区医師会 会議室	全3回シリーズ Kampo Primary Webセミナー (日医生涯教育講座) 第1回 呼吸器疾患(風邪・インフルエンザ・咽頭痛・気管支炎)	千福 貞博(センブククリニック院長)	1.0単位・46)	宮古地区医師会 国頭(くにがみ) 0980-73-1639 参加費 なし
12/15 (土) 16:30	沖縄県教職員共済 会館 八沙荘	第11回あじまあの会 (日医生涯教育講座) ①当院におけるインスリン ラレギンU300の使用 経験について ②心血管病予防のためのトータルリスクコントロール	①高橋 隆(医療法人おもと会大浜第一病院糖尿病・内分泌内科) ②桑原 宏一郎(信州大学循環器内科学教授)	①0.5単位・7) ②1.0単位・82)	サノフィ(株) 岡村 達生 080-6627-7668 参加費 会費500円

開催日	場所	名称	講師	単位・CC	問合せ先 参加費
12/19 (水) 19:30	中部地区医師会館	平成30年度がん検診充実強化促進事業 がん検診従事者研修会 (日医生涯教育講座) 沖縄県内がん検診実施機関の実態調査について	高橋 宏和他2名(国立がん研究センター室長)	1.5単位・0)	沖縄県医師会 上原 あさひ 098-888-0087 参加費 なし
12/20 (木) 19:30	沖縄県医師会館	平成30年度がん検診充実強化促進事業 がん検診従事者研修会 (日医生涯教育講座) 沖縄県内がん検診実施機関の実態調査について	高橋 宏和他2名(国立がん研究センター室長)	1.5単位・0)	沖縄県医師会 上原 あさひ 098-888-0087 参加費 なし
01/10 (木) 19:00	宮古地区医師会 会議室	全3回シリーズ Kampo Primary Webセミナー (日医生涯教育講座) 第2回 消化器疾患(上部不定愁訴・便秘)	千福 貞博(センブククリニック院長)	1.0単位・54)	宮古地区医師会 国頭(くにがみ) 0980-73-1639 参加費 なし
01/16 (水) 19:15	沖縄県医師会館	学術講演会 (日医生涯教育講座) 小児先天異常の治療～上肢を中心に～	金谷 文則(琉球大学大学院医学研究科整形外科教授)	1.0単位・10)72)	沖縄県整形外科医会 知念 恭子 098-895-1174 参加費 整形外科医2,000円・他科1,000円
02/02 (土) 15:05	沖縄県薬剤師会館	疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会 (日医生涯教育講座) ①緩和薬物治療における薬剤師の役割(仮題) ②疼痛治療の基本と実際(仮題) ③質疑応答パネルディスカッション	①入月 健(沖縄協同病院薬局) ②小杉 寿文(佐賀県医療センター好生館緩和ケア科部長) ③中島 信久(琉球大学医学部附属病院地域医療部特准准教授)	①0.5単位・10) ②1.0単位・4)15) ③0.5単位・0)	(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター 富澤 正夫 03-3581-7436 参加費 なし

※最新の情報はホームページで逐次更新していますので、ご確認ください。
※お願い:2月10日～4月9日迄の講演会例会等が決まれば、12月25日迄に業務1課(098-888-0087)へご一報下さい。

お知らせ

文書映像データ管理システムについて (ご案内)

さて、沖縄県医師会では、会員へ各種通知、事業案内、講演会映像等の配信を行う「文書映像データ管理システム」事業を平成23年4月から開始しております。
また、各種通知等につきましては、希望する会員へ郵送等に併せてメール配信を行っております。
なお、「文書映像データ管理システム」(下記 URL 参照)をご利用いただくにはアカウントとパスワードが必要となっており、また、メール配信を希望する場合は、当システムからお申し込みいただくことにしております。
アカウント・パスワードのご照会並びにご不明な点につきましては、沖縄県医師会事務局(TEL098-888-0087 担当:新垣・國吉)までお電話いただくか、氏名、医療機関名を明記の上 omajimusyo@okinawa.med.or.jp までお問い合わせ下さいませようお願いします。

- 「文書映像データ管理システム」
URL : <http://www.documents.okinawa.med.or.jp/>
※ 当システムは、沖縄県医師会ホームページからもアクセスいただけます。

平成 30 年度 産業医研修会案内

平成 30 年度みだし研修会を別紙要領により開催することに致しましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、研修会への受講を希望する場合には、別紙開催日程をご確認の上、下記により FAX(098-888-0089)でお申し込み下さい。

研修会参加申込票

参加希望の研修番号に○印を付けてください。

申込み研修番号	A・ B・ C・ D・ E・ F・ G・ H
参加申込者	氏名：
	氏名：
	氏名：
	氏名：
施設名	
TEL	
認定区分	認定医 ・ 未認定医

※申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡くださいますようお願い申し上げます。特に実地研修については、定員に達した場合、キャンセル待ちが発生することもございますのでご協力のほどお願い致します。

沖縄県医師会事務局 業務 1 課
(TEL.098-888-0087 FAX.098-888-0089)

平成30年度沖縄県医師会産業医研修会実施計画

※単位制の研修につき、**時間厳守**をお願いします。遅刻や途中退室は単位認定ができませんのでご注意ください。

申込み 研修番号	研修会名	日 時	場 所	カリキュラム (付与単位数)	講師名
終了	基礎研修 (前期のみ) (未認定医対象)	4月26日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (2階会議室2)	(1) 総論(2単位) 「やりがいのある産業医活動」 (2) 健康管理(2単位) 「職場の受動喫煙対策(新型 タバコ対策も含めて)」	(1) 伊志嶺 隆 先生 (2) 清水 隆裕 先生
終了	基礎研修 (前期のみ) (未認定医対象)	5月31日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (2階会議室2)	(1) 作業環境管理(2単位) 「産業医活動における作業環 境管理の活用法～作業環境測 定をどのように作業環境管理 に用いるか～」 (2) メンタルヘルス対策(2単位) 「ストレスチェック時代の産 業医が取り組む職場のメン タルヘルス対策」	(1) 青木 一雄 先生 (2) 山本 和儀 先生
終了	基礎(後期) 生涯 (専門・更新)	6月14日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 総論(2単位) 「産業保健における産業医の 役割～産業医活動を実施す る際の留意点を中心に～」 (2) 労働衛生関係法規と関係通達 の改正(2単位)	(1) 青木 一雄 先生 (2) 加藤 浩司 先生
終了	基礎(実地) 生涯(実地) 【定員60名】	7月12日(木) 開始18:30 終了21:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) メンタルヘルス対策(3単位) 「職場環境改善による医療従 事者のメンタルヘルス不調 の予防策」	(1) 山本 和儀 先生
終了	基礎(後期) 生涯(専門)	8月16日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 作業環境管理(2単位) 「作業環境管理の把握と活用 ～作業環境をハードおよび ソフト両面から捉えよう～」 (2) 健康保持増進(2単位) 「健康な職員は会社の財産」	(1) 青木 一雄 先生 (2) 伊志嶺 隆 先生
終了	基礎(後期) 生涯(専門)	10月18日(木) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 作業管理(2単位) 「作業管理の実際～過重労働 対策(過労死等予防対策)を中 心に～」 (2) メンタルヘルス対策(2単位) 「医療従事者のメンタルヘル ス対策」	(1) 青木 一雄 先生 (2) 山本 和儀 先生
終了	基礎(後期) 生涯 (専門・更新)	10月27日(土) 開始18:30 終了22:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 健康管理(2単位) 「職場における産業医の健康管 理の係わり方～健康管理にも PDCA サイクルを回そう～」 (2) 労働衛生関係法規と関係通達 の改正(2単位)	(1) 青木 一雄 先生 (2) 加藤 浩司 先生
H	基礎(実地) 生涯(実地)	12月15日(土) 開始18:30 終了21:30	沖縄県医師会館 (3階ホール)	(1) 健康管理(3単位) 「職場における健康情報提供の 具体策 健康診断事後指導・ 啓発の実際」 ※パソコンをお持ちの方で、当日持ち込みが 可能な方はご持参ください。その場合、モ バイルルーター等 Wi-Fi の接続機器もお 持ちでしたら、あわせてご持参ください。	(1) 清水 隆裕 先生

※申込後にキャンセルする場合は、お早めにご連絡くださいますようお願い申し上げます。特に実地研修については、定員に達した
場合、キャンセル待ちが発生することもございますのでご協力のほどお願いいたします。

参考 沖縄県医師会 産業医研修会年度別開催スケジュール（平成26年～平成30年度）

研修名称		研修内容	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
I 基礎 研修	前期研修 (未認定医14単位以上)	(1) 総論(2単位)	4/17		4/28		4/26
		(2) 健康管理(2単位)	4/17		4/28		4/26
		(3) メンタルヘルス対策(1単位)	6/19		6/16		5/31
		(4) 健康保持増進(1単位)		4/16		5/25	
		(5) 作業環境管理(2単位)	6/19		6/16		5/31
		(6) 作業管理(2単位)		4/16		4/20	
		(7) 有害業務管理(2単位)		6/18		5/25	
		(8) 産業医活動の実際(2単位)		6/18		4/20	
		(9) その他					
I II 基 生 礎 涯 研 研 修 修	後期研修 (未認定医26単位以上)	(1) 労働衛生関係法規と関係通達の改正	10/30	5/21	5/19、10/15	7/8、10/19	6/14、10/27
		(2) その他	5/15	7/16			
	更新研修 (認定医1単位以上)						
I II 基 生 礎 涯 研 研 修 修	実地研修 (未認定医10単位以上) (認定医1単位以上)	(1) 健康管理		6/20			12/15
		(2) じん肺の胸部エックス線検査					
		(3) メンタルヘルス対策	11/13	11/12	6/4	7/27	7/12
		(4) 健康保持増進				11/18	
		(5) 救急処置			11/17		
		(6) 作業環境管理・作業管理	8/23				
		(7) 職場巡視と討論					
		(8) その他		7/12			
I II 基 生 礎 涯 研 研 修 修	後期研修 (未認定医26単位以上) 専門研修 (認定医1単位以上)	(1) 総論	5/15		5/19		6/14
		(2) 労働衛生管理体制(総括管理)		5/21,7/12		7/8	
		(3) 健康管理	7/17	8/20	7/14	8/10	10/27
		(4) メンタルヘルス対策	9/13	10/8	8/25	6/15	10/18
		(5) 健康保持増進	7/17		7/14		8/16
		(6) 作業環境管理	10/30		10/15		8/16
		(7) 作業管理		7/16		6/15	10/18
		(8) 有害業務管理		11/26		10/19	
		(9) 労働衛生教育		8/20		8/10	
		(10) その他	9/13		8/25		
		研修会開催回数	8回	10回	8回	8回	8回

【未認定医】

- ・新規認定の為に基礎研修（前期研修14単位以上・実地研修10単位以上・後期研修26単位以上）合計で50単位以上の修得が必要です。
- ・未認定医は「2年程度」で産業医の認定資格が得られます。

【認定医】

- ・認定産業医の更新には、認定証取得後（有効期限内5年間）に生涯研修（更新研修1単位以上、実地研修1単位以上、専門研修1単位以上）20単位以上の修得が必要です。
- ・認定医は1年間では単位取得が可能です。

平成30年度 産業保健研修会予定表

沖縄産業保健総合支援センターでは、事業場の産業保健担当者等に対して産業保健に関する基礎的又は専門的・実践的な研修会を開催しています。

参加ご希望の方は当センターのホームページの「申し込みフォーム」又は、下欄の「申込書」に記載の上、このままFAX(098-859-6176)にてお申込みください。(https://okinawas.johas.go.jp)

※「定員」に達した場合は受付を終了させていただくことがあります。ご了承ください。

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831-1
 沖縄産業支援センター 2階 (301)
 独立行政法人 労働者健康安全機構
 沖縄産業保健総合支援センター



本研修会は無料です。

※キャンセルの場合は御連絡下さい。

TEL098-859-6175 FAX098-859-6176

● **産業医研修 (生涯研修2単位:「産業医学研修手帳(Ⅱ)」をご持参ください。)**

【研修場所 沖縄産業支援センター3階会議室】

研修会番号	日時	研修テーマ(仮題)	内容(概略)	講師	研修会場
終了	11月20日(火) 18:30~20:30	職場における発達障害を有する働く人への対応について(生涯専門)	発達障害と診断される人が増えています。事例を通じて産業医として何が できるか、ともに考えてみましょう。	国吉 直美 (精神科医)	303室
34	12月19日(水) 18:30~20:30	快適オフィスを目指した職場巡視のポイント(生涯専門)	働きやすい快適職場にするための「職場巡視」の役割・ポイントをまとめます。	崎間 敦 (産業医学)	303室
35	平成31年 1月30日(水) 18:30~20:30	治療と仕事の両立支援①(生涯専門)	「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」を踏まえ、サポートにあたる主治医、産業医等の役割や関り方について検討します。	沖縄産保センター	305室
36	2月6日(水) 18:30~20:30	治療と仕事の両立支援②(生涯専門)	「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」を踏まえ、サポートにあたる主治医、産業医等の役割や関り方について検討します。	沖縄産保センター	304室
37	2月14日(木) 18:30~20:30	働きやすい職場づくり(メンタルヘルスの視点から) (生涯専門)	ストレスを軽く受け流す方法、メンタルヘルス不調者への接し方を学び、働きやすい職場を目指す。	伊志嶺 隆 (産業医学)	303室
38	2月21日(木) ※14:00~16:00	働き方改革と労働時間管理(生涯更新)	過重労働による健康障害を防止するための、働き方改革と労働時間管理について、労働基準関係法令を中心に説明します。	沖縄労働局	303室

※研修会場の部屋番号が変更になる場合があります。当センターのホームページ、又は当施設の案内板でご確認ください。

申 込 書

※キャンセルの場合は必ず御連絡下さい。

FAX 098-859-6176

開催場所	沖縄産業支援センター 3階会議室		研修会番号	34, 35, 36, 37, 38
フリガナ(必須)氏名			所属部署	
所属機関(事業場名)			職 種	1. 産業医 2. 産業看護職(保健師・看護師) 3. 衛生管理者 4. 人事・労務・安全衛生担当者 5. 事業主 6. 労働者 7. その他()
電話番号	FAX番号	当センターメルマガ希望有(Email:)・無		

※申込みの際にご記入いただいた個人情報は、本研修会における参加名簿作成のために使用するほか、当センターが行う研修・セミナー等の御案内に使用させていただくことがあります。また、「かわら版」の研修予定以外に研修会を開催することがございますのでホームページをご覧ください。

嘱託産業医活動情報書

沖縄県医師会では、事業場からの産業医紹介依頼に対応するため、産業医としての契約を希望されている先生方の情報を取りまとめたいと考えております。ご協力いただける方は下記事項に記入いただき提出をお願い致します。
 ※事業場との契約内容(報酬等)については、事業主と産業医の相談により決定となります。

申込み日 平成 年 月 日 ()

産業医氏名		診療科目	
医療機関名			
住 所			
電話番号		FAX	
メールアドレス			

嘱託産業医を受託する際のご希望をお聞かせ下さい。

項 目	ご 希 望 条 件
実施可能件数	1件 ・ 2件 ・ 3件 ・ 4件 ・ 5件以上
事業所規模	従業員数 ①50人～99人 ②100人～149人 ③150人以上
業種について	①建設業 ②製造業 ③運送業 ④サービス業 ⑤IT業 ⑥その他 ()
病院から事業所までの所要時間 (片道)	①30分程度 ②45分程度 ③1時間程度 ④時間は気にしない
事業所への訪問、実施曜日 (事業所訪問は基本月1回)	①企業の都合に合わせる ②双方相談のうえ調整
()に第何週か記入下さい	①第 () 水曜日 ②第 () 木曜日 ③第 () 土曜日
ストレスチェックの 実施者 になることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェックの 共同実施者 になることについて	① 承諾する ②承諾しない ③要相談
ストレスチェック後の高ストレス者に対する面接指導について	① 実施可能 ②実施不可 ③要相談
地区医師会との情報共有	① 許可する ②許可しない

メモ欄

連絡先
 沖縄県医師会業務1課(久場)
 TEL:098-888-0087
 FAX:098-888-0089

平成30年4月1日より利用開始の「インバウンド医療通訳コールセンター」における利用件数及び、6月1日利用開始の「医療機関向け相談窓口」の相談件数及び、相談内容(概要)をお知らせいたします。

沖縄県内全域医療機関において全て無料でご利用いただけますので、各医療機関におかれましては、是非、有効利用下さいませようご案内申し上げます。

1. 電話医療通訳サービス・メール翻訳の利用件数 (H30.10.31 現在)

沖縄県内全域医療機関対象 ※無料

期 間 (日数)	利 用 件 数				
	電話通訳 (うち医療機関)	電話通訳の1日 あたりの利用件 数	翻 訳	翻訳の1日あた りの利用件数	消防通訳
H 30.4.1～4.30 (30 日)	6 件(6 件)	0.2 件	10 件	0.33 件	1 件
H 30.5.1～5.31 (31 日)	59 件(57 件)	1.9 件	40 件	1.29 件	2 件
H 30.6.1～6.30 (30 日)	130 件(129 件)	4.3 件	96 件	3.20 件	1 件
H 30.7.1～7.31 (31 日)	77 件(70 件)	2.4 件	33 件	1.06 件	4 件
H 30.8.1～8.31 (31 日)	88 件(87 件)	2.8 件	55 件	1.77 件	11 件
H 30.9.1～9.30 (30 日)	163 件(161 件)	5.4 件	63 件	2.1 件	2 件
H 30.10.1～10.31 (31 日)	118 件(115 件)	3.8 件	43 件	1.39 件	1 件
計	641 件(625 件)	3.0 件	340 件	1.59 件	22 件

※翻訳は、200文字を1件としてカウントしている。

(別紙)

「医療機関向け相談窓口」の相談件数及び相談内容(概要)について

沖縄県では平成30年6月1日より、外国人観光客に対する医療費の請求や入院長期化に伴うビザの延長手続き等、外国人患者受入れに伴う様々な問題に対応する医療機関向けの相談窓口(電話対応)を、実証事業として開始しております。

★ 医療機関向け相談窓口では、下記のような事例にも対応しておりますので、積極的にご活用下さい。

(主な対応可能な相談事例)

- ・外国人患者への注意事項等について
- ・外国人患者へ事前に説明しておく事、確認や必要な事項について
- ・外国と日本との医療環境の違いについて
- ・未収金を発生させない対応方法について
- ・事後トラブルを未然に防ぐ方法について
- ・外国人患者の保険加入の場合の取り扱いについて
- ・外国人患者の保険未加入の場合の取り扱いについて
- ・保険会社や外国人患者の家族との連絡について

- ・領事館への連絡の必要な事例
- ・帰国後の未収金回収について
- ・死亡した場合の対応方法について
- ・その他 外国人観光客対応でお困りの事

平成 30 年 6 月 1 日～10 月 31 日までに相談窓口へ寄せられた相談件数と、具体的な相談内容（概要）は以下のとおりとなっております。

《相談件数》

医療機関向け相談窓口の相談件数（H30 年 6 月 1 日～10 月 31 日）

期 間（日数）	相談件数	1 日あたりの相談件数
H30.6.1～6.30（30 日）	6 件	0.20 件
H30.7.1～7.31（31 日）	2 件	0.06 件
H30.8.1～8.31（31 日）	4 件	0.12 件
H30.9.1～9.30（30 日）	3 件	0.10 件
H30.10.1～10.31（31 日）	1 件	0.03 件
計	16 件	0.10 件

（沖縄県内全域医療機関対象 ※無料）

《具体的な相談内容（概要） 8 月以降～抜粋～》

ケース 1

- (1) 相談内容: 現在危篤状態の台湾観光客が万が一亡くなられた場合に、遺体の移送やその他処置でかなりお金がかかるので補助金がないか教えてほしいとのこと。また必要書類があれば教えてほしい。
- (2) 返答内容: お調べした所、補助金などの制度は現段階ではないが、情報は都度更新されているため、担当の医療機関から再度ご連絡いただければ最新情報をご案内する旨をお伝えする。

ケース 2

- (1) 相談内容: 脳梗塞の外国人患者がいるが、現在 ICU にて治療中の方を韓国の病院まで搬送するためのコーディネイト対応をお願い出来ないか。
- (2) 返答内容: 外国の病院は対象外であるため、こちらでは対応できかねるが、搬送に関してご相談が可能な会社の電話番号をお伝えした。

インバウンド医療通訳コールセンターの開設について

今般、沖縄県では、外国人観光客の医療問題に対応すべく、24時間365日対応の多言語コールセンター(名称: Be.Okinawaインバウンド医療通訳コールセンター)を開設し、電話通訳やメール翻訳サービスを提供(無償)することです。

また本年6月からは個々の医療機関では対応が困難なケースに対処するため、「医療機関向け相談窓口(実証実験/24時間365日対応/無償)」をスタートすることです。

各医療機関におかれましては、是非、有効利用下さいませようご案内申し上げます。




外国人観光客へ医療サービスを提供する沖縄県内の医療機関様

Be. Okinawa 医療通訳多言語コールセンター
電話医療通訳サービス
メール翻訳サービスのご案内

沖縄県では外国人観光客の急増に伴い、病気やケガ等で外国人観光客が医療機関を受診する件数が増加していることを受け、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの期間、外国人観光客に医療サービスを提供する県内の医療機関を対象に24時間いつでも利用できる **電話での多言語医療通訳とメール翻訳サービス** を開始します。

また、県内の外国人観光客の医療の現状や先進事例の把握・分析を行うことで、インバウンド医療体制の整備や、より外国人観光客を受け入れやすい環境づくりを支援致します。ぜひ、ご活用ください。

サービス内容① 

- ・ご来院の外国人観光客との**電話機**の受け渡しによる**電話での医療通訳サービス**

サービス内容② 

- ・メールでのやり取りによる**簡易メール翻訳サービス**

TEL : 03-6635-0230

対象機関 外国人観光客の受入にすでに取り組んでいる 又は取り組みたい県内の医療機関様

対応言語 通訳：英語 / 中国語 (北京語・広東語) / 韓国語 / タイ語 / スペイン語 / ポルトガル語
 翻訳：英語 / 中国語 (簡体字・繁体字) / 韓国語 / スペイン語 / ポルトガル語 / ベトナム語 / タイ語

対応期間 平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日 / 24時間体制



沖縄県 医療通訳対象施設向け

メール翻訳サービスのご案内 2018.04

【 翻訳のご利用方法 】

メール翻訳サービス

問診票、同意書、領収書などの院内書面（日本語→外国語）や問い合わせメール対応（外国語→日本語）などにご活用ください。

① 対応言語

日本語 / 英語 / 中国語（簡体・繁体） / 韓国語 / ポルトガル語 / スペイン語
ベトナム語 / タイ語

② 文字数

1回分 原稿 A4 サイズ 1枚以内

（文字の目安）英語 / ポルトガル語 / スペイン語 / ベトナム語 / タイ語 100word

（文字の目安）日本語 / 中国語 / 韓国語 200文字

③ 翻訳件数

1施設あたり 10件 / 月まで

翻訳ご依頼時の注意事項

※1言語1件とカウントします。

※契約書等、法解釈を含むものの翻訳は対応いたしかねます。

④ 納品時間

72時間以内に納品

※文字数により、納品時間をご相談させていただきます。

⑤ 依頼方法

専用メールアドレス (okinawa_mi@bricks-corp.com) まで、メールにてご依頼ください。



Be. Okinawa 医療通訳多言語コールセンター

翻訳依頼データ受付メールアドレス

okinawa_mi@bricks-corp.com

注意事項) こちらの依頼データ受付メールアドレス・お電話番号は対象施設様にもみ公開しております。
一般の方からの電話はお受けできませんのでお取り扱いにはご注意ください。



大切なお知らせ！



Be.Okinawa インバウンド医療通訳コールセンター

**【医療機関向け相談窓口（実証実験）】を
2018年6月1日より開始しています。**

沖縄県では外国人観光客の急増に伴い、病気やケガ等で外国人観光客が医療機関を受診する件数が増加しております。それに伴い以下のような事例が発生しております。

事例

- ① 外国人観光客が死亡した際の対応方法
国によって対応方法が違う……………。
- ② 外国人観光客が救急搬送され、本人は診療後に退院、帰国を希望
退院後に何かあった場合、医療機関側の責任は……………。
医療機関としては、安静が必要な状況……………。
- ③ 外国人観光客の急病入院が長期化
ビザの延長手続き、医療費支払、相手国への緊急搬送……………。

医療機関向け相談窓口では、各医療機関で個別対応した事例をヒヤリングし、沖縄県内の医療機関全体の外国人観光客の事例を集約、情報共有にて、医療機関からの問合せに、即対応出来る体制を構築していく予定です。

対象期間	外国人観光客の受入に既に取組んでいる又は 取組みたい県内の医療機関様
対応期間	平成30年6月1日～平成31年3月31日/24時間体制
電話番号	03-6635-0231

問い合わせ先

医療通訳サービス運営事務局（株式会社ブリックス・株式会社シャイニング）

TEL: 098-868-5230（平日 9:30～18:00） FAX: 043-332-8868 E-mail: okinawa@bricks-corp.com

〒900-0032 沖縄県那覇市松山1丁目4番12 株式会社シャイニング内

沖縄県医療通訳サービス 2018/4

平成 30 年度災害医療研修プログラム開催のお知らせ

沖縄県医師会では、東日本大震災や熊本地震の教訓を活かし、次の大規模災害に備えた態勢の整備として、平成 26 年度より独自に災害医療研修プログラムを実施しております。

今年度の開催プログラムが決定いたしましたのでお知らせします。

各コースへの受講申込は、下記により FAX (098-888-0089) にてお申し込み下さい。

	日時	プログラム	研修形態
終了	6月28日(木) 19:30~21:00	災害総論	講義
終了	9月27日(木) 19:30~21:00	災害現場医療対応の原則(急性期)	講義+図上
終了	10月11日(木) 19:00~20:30	大規模災害発生時における多数死体検視(仮称)	講義
4	12月1日(土) 15:00~17:00 ※台風で延期となった 研修会です	① 熊本地震を経験して伝えたいこと ② 熊本市の保健医療活動から見えた課題 招聘講師：熊本市南区自治体職員	講義
5	12月13日(木) 19:30~21:00	CBRNE(テロ災害) ~TOKYO2020 東京オリンピック・パラリンピック に向けて~	講義

※ 研修コースは全て沖縄県医師会館(3F ホール)で開催予定です。

----- 参加申込票 -----

■ FAX.098-888-0089 参加希望の研修番号に○印を付け、お申込みください。

申込番号	1 ——— 2 ——— 3 ——— . 4 . 5
施設名	
氏名	医師・看護師・業務調整員・その他

沖縄県医師会事務局 業務1課 山川、崎原
TEL: 098-888-0087 FAX: 098-888-0089

～ICLS コース開催のお知らせ～

ICLS(Immediate Cardiac Life Support)コースとは、最新の心肺蘇生ガイドラインに基づいた二次救命処置について学ぶ日本救急医学会認定のトレーニングコースです。成人の心肺停止に的をしぼり、最初の10分間に行うチーム医療を、シミュレーション実習を通して学びます。今年度、開催期日が決定しましたのでお知らせします。

名称	時間	実施場所
第60回 新おきなわICLSコース (終了)	5月27日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
第61回 新おきなわICLSコース (終了)	7月22日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
第62回 新おきなわICLSコース (受付終了)	10月7日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター
第63回 新おきなわICLSコース (受付終了)	11月25日(日) 9:00～18:00	名桜大学
第64回 新おきなわICLSコース	2月10日(日) 9:00～18:00	おきなわクリニカル シミュレーションセンター

✚ 各コースとも受講料(昼食代込、テキスト代別)は、医師・歯科医師8,000円、コメディカル6,000円を予定しています。

✚ 各コースとも募集は2ヶ月前に以下リンク先に掲載されますので、お申込み下さい。

✚ 沖縄県医師会 <http://www.okinawa.med.or.jp/html/kyukyu/kyukyu/kyukyu.html>

✚ おきなわクリニカルシミュレーションセンター <http://okinawa-clinical-sim.org/course.html>

✚ 受講選考については、これまで通り申し込み順ではなく、施設間のバランスやインストラクターの参加状況を踏まえ、決定することになりますので、ご了承ください。

・問い合わせ先: trees@me.au-hikari.ne.jp (沖縄 ER サポート 林 峰栄)

・問い合わせ先: 沖縄県医師会事務局 業務1課(崎原)

TEL. 098-888-0087 FAX. 098-888-0089



沖縄県医療勤務環境改善支援センター ニュースレター

平成 30 年 10 月 4 日発行 第 79 号

沖縄県医師会（沖縄県医療勤務環境改善支援センター）
〒901-1105, 南風原町字新川 218-9
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089
<mailto:g1@ml.okinawa.med.or.jp>

★労務管理トピック

最近のパワハラ事情

医療労務管理アドバイザー
社会保険労務士 儀保 禎孝

増えているのは、カスタマーハラスメント（もしくはクレマーハラスメント）についてです。



・平成30年3月に行われた「職場のパワーハラスメント防止対策についての検討会」において、「顧客や取引先からの暴力や悪質なクレームなどの著しい迷惑行為」については、労働者に大きなストレスを与える悪質なものが、無視できない状況にあるという問題が明らかになった。

労働者が著しい迷惑行為を受けているなら、事業主が労働者の安全に配慮するために何らかの対応に取り組むことが必要では？



・問題点：職場のパワーハラスメントへの対応との相違点を踏まえて
1・事前に行行為者が予測できない場合には予防が難しい。
2・事業主が自社の労働者に対して講じるのと同様の措置を講じることは難しい。
3・業種や職種ごとに態様や状況に個別性が高い。
などがあり難航している。

・今後、厚生労働省において、関係者の協力の下で具体例の収集、分析を鋭意行うことが求められ、必要な対応について労働政策審議会にて検討が進められる予定。

★Q&A 以下のハラスメントの根拠法を教えてください。

- Q. 1. セクシャルハラスメント
2. マタニティハラスメント
3. パワーハラスメント

- A. 1. 男女雇用機会均等法
2. 育児・介護休業法
3. 残念ながら根拠法はございません。現在あるのは、「事案が発生してから」の結果に対する裁判例のみです。

沖縄県医療勤務環境改善支援センター ニュースレター

平成 30 年 10 月 19 日 発行 第 80 号

沖縄県医師会(沖縄県医療勤務環境改善支援センター)
〒901-1105, 南風原町字新川 218-9
TEL.098-888-0087 / FAX.098-888-0089
<mailto:g1@ml.okinawa.med.or.jp>

★労務管理トピック



雇用保険、健康保険の手続の仕方に変更がありました。

医療労務管理アドバイザー(社会保険労務士) 諸見里 純子

(その1) — 雇用継続給付の手続き—被保険者の署名・押印の省略(平成30年10月～)—

- 雇用保険法施行の改正により、雇用継続給付の手続きに当たり、その申請内容等を事業主等が被保険者に確認し、被保険者との合意のもとに「記載内容に関する確認書・申請等に関する同意書」を作成して保存することで、申請書への被保険者の署名・押印を省略できることになりました。
- この場合、申請書の申請者氏名・署名欄には、「申請について同意済み」と記載します(電子申請において申請される場合も同様です)。

○確認書・同意書の保存期間は、完結の日から4年間となります。

○この手続きが認められる要件は、事業主が被保険者に対して同意書を提出してもらい、これを事業主が保存していることです。しかし、必要に応じて、事業所管轄ハローワークから同意書の提出を求められることがあります。

- 対象となる申請書等は、[高齢雇用継続給付・育児休業給付・介護休業給付]の各「支給申請書」「賃金月額証明書」です。 ☆ 少しでも、手続きが簡略化できるのであれば、利用されるとよいですね。

(その2) — 被扶養者に関する届出—添付書類の取扱いの変更等(平成30年10月～)—

- 日本国内にお住まいのご家族の方を被扶養者に認定する際の身分関係及び生計維持関係の確認について、**申立てのみによる認定は行わず、証明書類に基づく認定を行うよう、事務の取扱いが変更になりました。(日本年金機構、全国健康保険協会のほか、各健康保険組合も同様)。**

併せて、「健康保険被扶養者(異動)届」の新様式も公表されました。

<添付書類の変更及び添付書類の一部省略>

項番	添付書類	目的	添付の省略ができる場合
1	次のいずれか ・戸籍謄本または戸籍抄本 ・住民票(同居の方に限る) (提出日から90日以内に発行されたもの)	続柄の 確認	次のいずれにも該当するとき ・被保険者と扶養認定を受ける方双方のマイナンバーが届書に記載されていること ・左記書類により、扶養認定を受ける方の続柄が届書の記載と相違ないことを確認した旨を、事業主が届書に記載していること
2	年間収入「130万円未満、65歳以上・障害者180万円未満」であることを確認できる課税証明書等の書類	収入の 確認	・扶養認定を受ける方が所得税法上の控除対象の配偶者または扶養親族であることを確認した旨を、事業主が届書に記載していること (非課税対象の収入がある場合、 通知書等のコピーが必要)
3	仕送りの事実と仕送り額が確認できる書類 ・振込の場合…預金通帳の写し ・送金の場合…現金書留の控え(写し)		・16歳未満のとき ・16歳以下の学生のとき

☆ 同居の場合は項番1・2を、別居の場合は項番1・2・3を添付することとされています。

ご存知ですか？

平成26年10月施行の改正医療法により、病院または診療所の管理者は、医療従事者の勤務環境改善等への取り組みが努力義務化されました。将来にわたり質の高い医療サービスを提供していくためには、医療従事者が健康で安心して働くことの出来る環境整備が必要です。

沖縄県医師会

医療勤務環境改善支援センター

平成27年3月2日より沖縄県医師会事務局内にみだし支援センターを開設しました。本センターには医療労務管理アドバイザー（社会保険労務士）及び医業分野アドバイザー等を配置し、医療機関の自主的な勤務環境改善に必要な支援を行います。

まずは「できるところから」始めてみましょう

相談

情報提供

助言

支援

医療勤務環境改善に関する研修会

労働時間管理（働き方・休み方等）
労働安全衛生（スタッフ健康支援）
施設環境整備（ハード・ソフト）
キャリア形成支援等

診療報酬制度面
医療制度・医療法制度面
組織マネジメント・経営管理面
各種補助メニューの活用提案

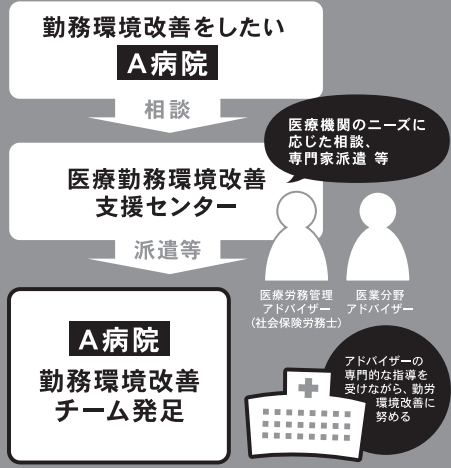
お問い合わせ

TEL:098-888-0087

沖縄県医療勤務環境改善支援センター 〒901-1105 南風原町字新川1218-9
FAX:098-888-0089 平日9時～17時（土・日・祝祭日・年末年始除く） 沖縄県医師会事務局内

いきいき働く医療機関サポートWeb <http://iryoin-kinmukankyou.mhlw.go.jp/>

【医療勤務環境改善の手順】



PDCAサイクル



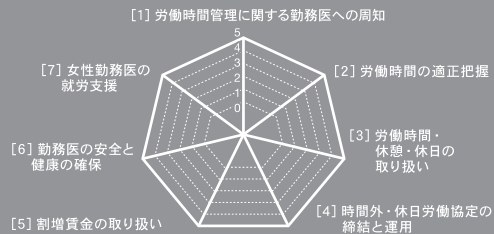
日本医師会 勤務医の健康支援に関する検討委員会
勤務医の労務管理に関する
分析・改善ツール
http://dl.med.or.jp/dl-med/kinmu/kshien_tool201403.pdf



勤務医の労務管理チェックリスト

- [1] 労働時間管理に関する勤務医への周知
- [2] 労働時間の適正把握
- [3] 労働時間・休憩・休日の取り扱い
- [4] 時間外・休日労働協定(36協定)の締結と運用
- [5] 割増賃金の取り扱い
- [6] 勤務医の安全と健康の確保
- [7] 女性勤務医の就労支援

勤務医の労務管理チェックリスト分析チャート



沖縄県医師会事務局 沖縄県医療勤務環境改善支援センター 行

お問い合わせ TEL:098-888-0087 FAX:098-888-0089

無料

沖縄県医療勤務環境改善支援センター利用申込書

記入日：平成 年 月 日

所属機関		
連絡先	TEL	内線
担当者氏名		
希望相談支援内容	医療労務管理面 ・ 医業経営面		
相談方法	電話相談 ・ 訪問相談 ・ 来所相談		
希望日	平成	年	月 日

沖縄県医師会

総目次

沖縄県医師会報 総目次

Vol.54 No.1 ~ 12

通巻 588 ~ 599 号

表紙写真

	Vol.	No.	頁(通巻頁)
世界が平和でありますように！……………長嶺胃腸科内科外科医院	長嶺 信夫……………54	1	
蝦夷富士（羊蹄山）……………和ウイメンズクリニック	赤嶺 和成……………54	2	
水の都ベネチア……………那覇市立病院	間仁田 守……………54	3	
与論島の海（百合が浜）……………とよみ生協病院	原国 政裕……………54	4	
ゴールデンウィークの孔雀さま……………三原内科クリニック	喜久村徳清……………54	5	
老いても輝いて……………久田病院	小椋 力……………54	6	
東風ふかば あかしをこせよ 梅の花……………もとぶ野毛病院	堀川 恭平……………54	7	
知念岬から空中ダイブ……………はらクリニック	原 信一郎……………54	8	
ハッピーバルーンストリート……………みなみしまクリニック	島袋 毅……………54	9	
晩秋の奥祖谷にて……………浦添総合病院	藏下 要……………54	10	
雲湧く峠：晩秋朝景……………琉球大学第一外科	西巻 正……………54	11	
プラハ……………安里眼科	安里 良盛……………54	12	

年頭所感

年頭所感……………会長	安里 哲好……………54	1	3 (3)
平成 30 年 年頭所感……………日本医師会会長	横倉 義武……………54	1	5 (5)

新執行部

安里哲好会長 2 期目再選 一第 212 回沖縄県医師会臨時代議員会—

……………常任理事	稲田 隆司……………54	7	2 (762)
-----------	--------------	---	---------

退任の挨拶

医師会副会長として何をしたのだろうか

……………前副会長（那覇西クリニック まかび）	玉城 信光……………54	8	4 (892)
退任のご挨拶……………前常任理事（沖縄県健康づくり財団 理事長）	金城 忠雄……………54	8	6 (894)
監事の職務をふり返って……………前監事（三原内科クリニック 院長）	喜久村徳清……………54	8	7 (895)

就任の挨拶

変わるもの、変わらないもの……………理事（空の森クリニック）	徳永 義光……………54	8	8 (896)
理事就任挨拶……………理事（那覇西クリニック）	玉城研太郎……………54	8	9 (897)
監事就任ご挨拶……………監事（きなクリニック）	喜納美津男……………54	8	10 (898)

報 告	Vol.	No.	頁(通巻頁)
〈日医関連〉			
平成 29 年度都道府県医師会 小児在宅ケア担当理事連絡協議会常任理事 金城 忠雄.....	54	1	7 (7)
平成 29 年度全国医師会 勤務医部会連絡協議会勤務医部会部会長 西原 実.....	54	1	18 (18)
平成 29 年度第 48 回全国学校保健・学校医大会 輝ける未来を築く子どもたちのために ~今、学校医ができること~理事 白井 和美.....	54	2	2 (168)
国民医療を守るための総決起大会.....常任理事 宮里 達也.....	54	2	8 (174)
平成 29 年度家族計画・母体保護法指導者講習会糸数病院 糸数 功.....	54	3	2 (294)
平成 29 年度都道府県医師会 医事紛争担当理事連絡協議会常任理事 稲田 隆司.....	54	3	4 (296)
平成 29 年度都道府県医師会 地域医療構想担当理事連絡協議会副会長 宮里 善次.....	54	3	9 (301)
平成 29 年度死体検案研修会 (基礎) に参加して 医療法人ゆたか ゆたか泌尿器科 山城 豊..... 今井内科医院 今井 千春	54	3	18 (310)
日本医師会女性医師支援センター事業九州ブロック会議副会長 宮里 善次.....	54	3	20 (312)
沖縄県医師会女性医師部会委員 宮里 恵子			
平成 29 年度第 3 回都道府県医師会会長協議会会長 安里 哲好.....	54	4	2 (406)
平成 29 年度 医療政策シンポジウム.....副会長 宮里 善次.....	54	5	2 (514)
平成 29 年度母子保健講習会常任理事 宮里 達也.....	54	5	4 (516)
平成 29 年度女性医師支援事業連絡協議会沖縄県医師会女性医師部会副部会長 伊良波裕子.....	54	6	2 (604)
第 19 回都道府県医師会 介護保険担当理事連絡協議会.....理事 比嘉 靖.....	54	6	8 (610)
平成 29 年度都道府県医師会 有床診療所担当理事連絡協議会.....副会長 玉城 信光.....	54	6	14 (616)
平成 29 年度学校保健講習会理事 白井 和美.....	54	6	23 (625)
都道府県医師会 産業保健担当理事連絡協議会常任理事 金城 忠雄.....	54	6	26 (628)
平成 29 年度 治験推進地域連絡会議.....副会長 宮里 善次.....	54	6	35 (637)
第 141 回日本医師会臨時代議員会常任理事 稲田 隆司.....	54	6	40 (642)
日本医師会 CBRNE (テロ災害) 研修報告 ~ TOKYO2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けて~災害医療委員会委員長 出口 宝..... 理事 田名 毅	54	7	9 (769)
第 8 回ワークショップ「会員の倫理・資質向上をめざして」 —都道府県医師会の取り組みおよびケーススタディから学ぶ医の倫理—常任理事 稲田 隆司.....	54	7	18 (778)
平成 30 年度都道府県医師会「警察活動に協力する医師の部会 (仮称)」連絡協議会 沖縄県医師会警察医部会 部会長 山城 千秋.....	54	8	22 (910)
日本医師会主催第 14 回男女共同参画フォーラムに参加して沖縄県女性医師部会委員 大湾 勤子..... 副会長 宮里 善次	54	8	33 (921)

////////// 総目次 //////////////////////////////////////

	Vol.	No.	頁(通巻頁)
平成 30 年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会 ……………理事	城間 寛	54	9 33(1031)
都道府県医師会組織強化担当役員連絡協議会……………副会長	宮里 善次	54	9 40(1038)
第 142 回日本医師会定例代議員会 第 143 回日本医師会臨時代議員会			
……………理事	白井 和美	54	9 46(1044)
第 1 回外国人医療対策会議 ……………理事	城間 寛	54	10 20(1152)
平成 30 年度第 1 回都道府県医師会長協議会 ……………副会長	宮里 善次	54	12 17(1339)
死体検案研修会 (基礎) に参加して……………しいな整形外科	椎名 行夫	54	12 34(1356)
石垣島徳洲会病院	池原 康一		
〈九医連関連〉			
九州医師会連合会 第 367 回常任委員会……………会長	安里 哲好	54	1 30 (30)
第 117 回九州医師会総会 医学会及び関連行事 ……………副会長	玉城 信光		
理事	本竹 秀光		
I. 九州医師会連合会第 114 回臨時委員総会 ……………	54	1	32 (32)
II. 第 117 回九州医師会総会・医学会総会 ……………	54	1	35 (35)
九州医師会連合会 平成 29 年度 第 1 回各種協議会			
I. 地域医療対策協議会 (地域医療構想、新専門医制度を含む)			
……………副会長	宮里 善次	54	1 41 (41)
II. 医療保険対策協議会……………理事	平安 明	54	1 56 (56)
III. 介護保険対策協議会 (在宅医療・地域包括ケアを含む)			
……………副会長	玉城 信光	54	1 68 (68)
平成 29 年度 九州学校検診協議会第 2 回専門委員会			
……………理事	白井 和美	54	2 17 (183)
沖縄県医師会学校医部会常務理事	我那覇 仁		
九州各県医師会学校保健担当理事者会……………理事	白井 和美	54	2 24 (190)
九州医師会連合会 平成 29 年度救急・災害医療担当理事連絡協議会			
……………理事	田名 毅	54	4 11 (415)
九州医師会連合会第 368 回常任委員会 ……………会長	安里 哲好	54	4 16 (420)
九州医師会連合会 感染症担当理事連絡協議会 ……………常任理事	宮里 達也	54	4 18 (422)
九州医師会連合会 医療情報システム担当理事連絡協議会 ……………理事	比嘉 靖	54	6 50 (652)
九州医師会連合会第 369 回常任委員会 ……………会長	安里 哲好	54	6 58 (660)
九州医師会連合会 平成 29 年度 第 2 回各種協議会			
I. 地域医療対策協議会 (特に在宅医療を中心に)			
……………副会長	玉城 信光	54	7 22 (782)
II. 医療保険対策協議会……………理事	平安 明	54	7 29 (789)
III. 介護保険対策協議会 (主に平成 30 年度介護報酬改定)			
……………理事	比嘉 靖	54	7 36 (796)
九州医師会連合会第 370 回常任委員会 ……………会長	安里 哲好	54	7 44 (804)

	Vol.	No.	頁(通巻頁)
九州医師会連合会常任委員 九州各県医師会次期会長合同会議			
.....会長 安里 哲好.....	54	9	48(1046)
九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会			
.....理事 白井 和美.....	54	9	51(1049)
九州ブロック日医代議員(含・次期)連絡会議.....	54	9	55(1053)
九州医師会連合会第371回常任委員会.....	54	10	32(1164)
平成30年度(第40回)九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会会長合同会議			
.....会長 安里 哲好.....	54	10	34(1166)
九州医師会連合会第372回常任委員会.....	54	11	12(1248)
九州医師会連合会第115回定例委員総会.....	54	11	14(1250)
第49回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会.....	54	12	36(1358)
〈沖縄県医師会関連〉			
平成29年度第1回沖縄県医療保健連合(なごみ会)幹事会・懇談会			
.....常任理事 稲田 隆司.....	54	1	80(80)
第29回ツール・ド・おきなわにおける医療救護—大規模スポーツイベントにおけるMass Gathering Medicine—			
.....災害医療委員会委員長・沖縄県災害医療コーディネーター			
北部地区医師会理事 出口 宝.....	54	1	84(84)
沖縄県医療推進協議会～医療・介護の適切な財源確保、消費税問題の抜本的な解決について決議～			
.....常任理事 稲田 隆司.....	54	2	14(180)
平成29年度女性医師の勤務環境整備に関する病院長等との懇談会			
.....理事 城間 寛.....	54	2	26(192)
平成29年度永年勤続医療従事者表彰式234名が表彰される			
.....理事 城間 寛.....	54	2	43(209)
平成29年度那覇空港航空機事故対処部分訓練報告			
.....災害医療委員会委員長 沖縄県災害医療コーディネーター 出口 宝.....	54	2	46(212)
PHV・EV車輛による医療機器への電源供給に係る実証実験報告			
.....災害医療委員会委員長 沖縄県災害医療コーディネーター 出口 宝.....	54	3	29(321)
第124回沖縄県医師会医学会総会.....	54	3	34(326)
平成30年沖縄県医師会新年祝賀会・医事功労者表彰式			
.....常任理事 稲田 隆司.....	54	3	46(338)
台中市医師公会親善訪問.....	54	4	28(432)
第44回沖縄県学校保健・学校医大会.....	54	4	33(437)
琉球大学医学部新任教授記念講演会.....	54	5	10(522)
沖縄県交通遺児育成募金の贈呈について.....	54	5	12(524)
第9回沖縄県医師会県民健康フォーラム「超高齢社会での運転の問題について」			
～安全で健やかな高齢社会を目指して～			
.....理事 白井 和美.....	54	5	13(525)
平成29年度沖縄県医師会勤務医部会講演会			
.....沖縄県医師会勤務医部会 部会長 西原 実.....	54	6	60(662)

総目次

	Vol.	No.	頁(通巻頁)
第 211 回一般社団法人 沖縄県医師会 臨時代議員会 ……常任理事 稲田 隆司…54	6		65 (667)
会員の倫理・資質向上に関する講演会「医師の倫理と法的責任の境界—終末期医療をめぐる諸問題— ……常任理事 照屋 勉…54	6		96 (698)
第 10 回沖縄県医師会研修医歓迎レセプション ……理事 田名 毅…54	7		5 (765)
沖縄県医師会役員当選証の交付式 —第 11 回理事会— ……常任理事 稲田 隆司…54	8		2 (890)
医師の労働時間短縮に向けた緊急的な取組に関する病院長等との懇談会 ……理事 城間 寛…54	8		11 (899)
在沖米国海軍病院訪問 ……災害医療委員会委員長・沖縄県災害医療コーディネーター 出口 宝…54	8		16 (904)
各地区医師会役員決定…54	8		20 (908)
第 125 回沖縄県医師会医学会総会 ……広報委員 河崎 英範…54	9		9(1007)
第 213 回一般社団法人沖縄県医師会定例代議員会 ……常任理事 稲田 隆司…54	9		21(1019)
第 28 回 沖縄県医師会県民公開講座 ゆらぐ健康長寿おきなわ 眼の構造と目の病気 早期発見、早期治療で失明を防ごう！ ……理事 白井 和美…54	10		2(1134)
美ら島レスキュー 2018 報告 ……災害医療委員会委員長・沖縄県災害医療コーディネーター 出口 宝…54	10		8(1140)
常任理事 田名 毅			
沖縄県医師協同組合第 27 回通常総代会 …… 沖縄県医師協同組合 専務理事 稲田 隆司…54	10		13(1145)
なごみ会主催第 8 回県民健康フェア ……理事 白井 和美…54	11		2(1238)
平成 30 年度沖縄県総合防災実働訓練 …… 災害医療委員会委員長 沖縄県災害医療コーディネーター 出口 宝…54	11		6(1242)
南城市庁舎における災害救護訓練に参加して……常任理事 田名 毅…54	11		10(1246)
第 12 回沖縄県女性医師フォーラム ……理事 玉城研太郎…54	12		10(1332)
〈沖縄県・県医師会連絡会議〉			
平成 29 年度第 3 回沖縄県・沖縄県医師会連絡会議 ……副会長 宮里 善次…54	2		35 (201)
平成 29 年度第 4 回沖縄県・沖縄県医師会連絡会議 ……副会長 宮里 善次…54	4		37 (441)
平成 30 年度第 1 回沖縄県・沖縄県医師会連絡会議 ……副会長 宮里 達也…54	9		2(1000)
平成 30 年度第 2 回沖縄県・沖縄県医師会連絡会議 ……副会長 宮里 善次…54	12		2(1324)
地区医師会連絡協議会			
第 59 回地区医師会連絡協議会 …… 宮古地区医師会 会長 竹井 太…54	4		42 (446)

表 彰

Vol. No. 頁(通巻頁)

國吉勲先生、岩政輝男先生、安次嶺馨先生、山内英樹先生おめでとうございます。

.....常任理事 照屋 勉.....54 2 49 (215)

小渡有明先生瑞宝双光章受章・宮城信雄先生旭日小綬章受章 祝賀会・伊江朝次前沖縄県病院事業局長退任・我那覇仁沖縄県病院事業局長就任・村田謙二前沖縄県政策参与退任 激励会

.....常任理事 照屋 勉.....54 8 39 (927)

表紙写真年間グランプリ

西巻 正先生「太陽の眷属」(平成 29 年 8 月号掲載) を表彰!!.....54 2 63 (229)

座談会

ストレスチェックについて.....理事 本竹 秀光.....54 7 53 (813)

懇談会

〈マスコミとの懇談会〉

平成 29 年度第 3 回マスコミとの懇談会「超高齢社会での運転の問題について」

.....理事 白井 和美.....54 2 56 (222)

平成 29 年度第 4 回マスコミとの懇談会「沖縄における緑内障の有病率」

.....理事 白井 和美.....54 7 47 (807)

平成 30 年度第 1 回マスコミとの懇談会「受動喫煙・禁煙外来について」

.....理事 白井 和美.....54 9 60(1058)

平成 30 年度第 2 回マスコミとの懇談会「医師の働き方改革について」

.....理事 白井 和美.....54 12 41(1363)

保険のひろば

平成 29 年度上半期における個別指導・新規指定個別指導の主な指摘事項について

.....理事 平安 明.....54 2 64 (230)

平成 30 年度上半期における個別指導・新規指定個別指導の主な指摘事項について

.....常任理事 平安 明.....54 11 55(1291)

発言席

沖縄県を訪れた旅行透析者の動向 (2016 年) ~当院 24 年の実績を含めて~

..... 十全会 おおうらクリニック 大浦 孝、楠 憲夫.....54 2 82 (248)

ロヒンギャ難民キャンプでの医療支援活動に参加して

..... 沖縄 ER サポート (救急医・バイオリニスト) 林 峰栄.....54 5 38 (550)

本の紹介

健康格差「Health gap」を読んで..... 沖縄協同病院 整形外科 上原 昌義.....54 2 84 (250)

「新渡戸稲造 日本初の国際連盟職員」(玉城 英彦著 彩流社)

.....介護老人施設「あけみおの里」施設長 石川 清司.....54 4 86 (490)

テロメアエフェクト..... 翔南病院 桑江 紀子.....54 7 90 (850)

趣味のグループ	Vol.	No.	頁(通巻頁)
「平成 29 年度沖縄県医師会親睦囲碁大会」～シンギュラリティを超えて～ ……………県立南部医療センター・こども医療センター産業医 村田 謙二……………54	5		22 (534)
学会			
第 20 回日本医療マネジメント学会学術総会報告 ……………介護老人保健施設「あけみおの里」施設長 石川 清司……………54 (日本医療マネジメント学会評議員)	9		93(1091)
お知らせ			
あなたも受けよう！新しい緩和ケア研修会……………南部病院 笹良 剛史……………54	11		59(1295)
リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018 沖縄うらそえ～語り合い・分かち愛・支え愛 ちむぐくる沖縄～ がん征圧・がん患者支援のための 24 時間チャリティイベント …… リレー・フォー・ライフ・ジャパン 沖縄うらそえ実行委員会 実行委員 蔵下 要……………54	11		60(1296)
生涯教育			
てんかん疾患の画像検査……………琉球大学医学部附属病院放射線部 與儀 彰……………54	1		90 (90)
C 型慢性肝炎に対する DAAs (Direct Acting antivirals) 製剤の治療について —当院で診断された C 型慢性肝炎の治療成績も含めて— ……………社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 消化器病センター 内科 普久原朝史……………54	2		69 (235)
沖縄県南部地域における高齢者を対象とした心房細動の治療の現状・予後に関するコホート研究：Nambu cohort AF 研究 ……………友愛会南部病院循環器内科 井上 卓……………54	3		53 (345)
当院における重症大動脈弁狭窄症に対する早期治療成績 ……………琉球大学医学部附属病院 第二外科 比嘉章太郎……………54	4		59 (463)
当院における関節リウマチ治療の実際 ……………豊見城中央病院：腎臓・リウマチ膠原病内科 潮平 芳樹……………54	5		26 (538)
沖縄県における放射線治療の実態調査 (第 3 報)：沖縄県先端医療実用化推進事業 …… 沖縄県立中部病院、高精度放射線治療体制整備実務担当グループ (ワーキンググループ) ……………戸板 孝文……………54	6		100 (702)
慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 症例における呼気 NO (FeNO) 測定と治療の実際 ……………社会医療法人敬愛会 中頭病院 呼吸器内科 伊志嶺朝彦……………54	7		80 (840)
摂食嚥下障害について……………国立病院機構沖縄病院 神経内科 中地 亮……………54	8		48 (936)
日医生涯教育制度ハガキによる上位申告者 48 名に記念品 (図書カード) 贈呈！……………54	9		71(1069)
生涯教育コーナーへの感想……………南部徳洲会病院 救急 原田 宏……………54	9		72(1070)
「若年者突然死の原因である Brugada 症候群を知る」 ……………那覇市立病院 循環器内科 間仁田 守……………54	9		73(1071)
当院で経験した VA ECMO 症例の検討 ……………沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院 循環器科 山内 昌喜……………54	10		45(1177)
「胃食道逆流症 (GERD) 治療の実際」 ……………社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院 内視鏡センター 仲本 学……………54	11		23(1259)
臓器提供について本邦の現状……………県立中部病院 宮里 均……………54	12		50(1372)

プライマリ・ケアコーナー

Vol. No. 頁(通巻頁)

高齢者糖尿病治療連携において必要な共通認識

…… 社会医療法人友愛会 豊見城中央病院 糖尿病・生活習慣病センター 比嘉 盛丈……………54 1 96 (96)

ビスフォスフォネート (BP) 製剤による顎骨壊死

……………豊見城中央病院整形外科 永山 盛隆……………54 2 74 (240)

可逆性脳血管攣縮症候群 (reversible cerebral vas oconstriction syndrome:RCVS) 一画像所見を中心に—

…………… 琉球大学医学部附属病院 放射線科 與儀 彰……………54 3 60 (352)

緩和ケアの新潮流 :

……………南部病院 笹良 剛史……………54 4 65 (469)

介護老人保健施設における「看取り」～自験 46 症例の臨床的検討～

…………… 介護老人保健施設 あけみおの里 石川 清司……………54 5 33 (545)

沖縄県 IRUD (希少・未診断疾患イニシアチブ) とその体制について 日常診療において遭遇する疾患 ; マルフアン症候群

……………琉球大学医学部附属病院遺伝カウンセリング室

琉球大学大学院医学研究科育成医学講座 (小児科) 准教授 知念 安紹

教授 中西 浩……………54 6 106 (708)

末期心不全高齢者に対する在宅医療

…………… おもろまちメディカルセンター 循環器内科兼訪問診療 嘉数 朗……………54 7 85 (845)

高齢入院患者における発熱の検討…………… 中頭病院 総合内科

伊敷 洋平……………54 8 54 (942)

のど元過ぎても忘れない～沖縄麻疹流行の振り返りと明日への備え～

…………… 沖縄県立中部病院 感染症内科 椎木 創……………54 9 82 (1080)

腰下肢痛の診断 牧港クリニック「痛みの治療センター」

……………牧港クリニック 比嘉 康敏……………54 10 51 (1183)

平良 豊

メトロニダゾール誘発脳症

…………… 琉球大学医学部附属病院 放射線診断治療学講座 渡口 真史……………54 11 32 (1268)

蛋白尿から読み取る腎臓と心血管の徴候 ～進化の過程まで遡る、蛋白尿が示すもの～

…………… 那覇市立病院 腎臓リウマチ科 上原 圭太……………54 12 57 (1379)

インタビューコーナー

琉球大学大学院医学研究科 医学専攻眼科学講座 教授 古泉 英貴先生

……………インタビューアー 広報委員 清水 雄介……………54 1 100 (100)

消化器内視鏡会 会長 金城 福則先生

……………インタビューアー 広報委員 出口 宝……………54 2 79 (245)

沖縄県保健医療部 医療企画統括監 照屋 敦氏

……………インタビューアー 広報委員 本竹 秀光……………54 3 63 (355)

沖縄県歯科医師会 会長 真境名 勉先生

……………インタビューアー 広報委員 本竹 秀光……………54 4 72 (476)

小児科医会 会長 呉屋 良信先生

……………インタビューアー 広報委員 照屋 勉……………54 5 36 (548)

透析医会 会長 比嘉 啓先生

……………インタビューアー 広報委員 出口 宝……………54 6 109 (711)

//////////////////// 総目次 //////////////////////////////////////

	Vol.	No.	頁(通巻頁)
沖縄県政策参与 真栄田 篤彦インタビューアー 広報委員 玉井 修.....	54	7	88 (848)
県立北部病院院長 久具 忠男先生インタビューアー 広報委員 出口 宝.....	54	8	57 (945)
県立八重山病院 院長 篠崎 裕子先生インタビューアー 広報委員 本竹 秀光.....	54	9	85(1083)
沖縄県病院事業局 局長 我那覇 仁先生インタビューアー 広報委員 本竹 秀光.....	54	10	54(1186)
沖縄県子ども生活福祉部 部長 大城 玲子氏インタビューアー 広報委員 本竹 秀光.....	54	11	37(1273)
南部地区医師会 会長 安里 良盛 先生インタビューアー 広報委員 照屋 勉.....	54	12	60(1382)
月間 (週間) 行事お知らせ			
「はたちの献血キャンペーンに因んで」 沖縄県赤十字血液センター 所長 大久保和明.....	54	1	103 (103)
平成 30 年「耳の日」に因んで 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 さきはまクリニック 崎浜 教之.....	54	3	66 (358)
TB or not TB? ～那覇市で結核が増加～ 那覇市保健所 参事・医師 仲宗根 正.....	54	3	68 (360)
世界腎臓病デーによせて 身近で重要な急性腎障害 (AKI) Cr0.6 → 0.9mg/gCr は立派な AKI!琉球大学医学部附属病院血液浄化療法部 古波蔵健太郎.....	54	3	71 (363)
世界保健デー (4/7) に因んで沖縄県八重山保健所 国吉 秀樹.....	54	4	74 (478)
世界禁煙デーに因んで 健康長寿復権のためのたばこ対策は胎児・子どもの視点から受動喫煙の最近の話題を含めて 医療法人清心会 徳山クリニック 永吉奈央子.....	54	5	40 (552)
「歯と口の健康週間 (6/4～6/10)」に寄せて 沖縄県歯科医師会 地域保健委員会 委員 神谷 茂.....	54	6	114 (716)
沖縄県内の薬物情勢について ～「ダメ。ゼッタイ。」普及運動国際麻薬乱用撲滅デーに因んで～ 沖縄県警察本部刑事部 組織犯罪対策課長 島尻 重美.....	54	6	116 (718)
救急の日・救急医療週間に寄せて 沖縄県立中部病院 救急救命センター 豊里 尚己.....	54	9	90(1088)
結核予防週間 (9/24～9/30) に寄せて.....那覇市保健所 東 朝幸.....	54	9	92(1090)
「運動器の健康・骨と関節の日」(10/8) に因んで琉球大学医学部附属病院 神谷 武志.....	54	10	57(1189)
目の愛護デー (10/10) に寄せて琉球大学眼科教授 古泉 英貴.....	54	10	61(1193)
ピンクリボン運動月間に思うこと.....那覇市立病院外科・乳腺センター 宮国 孝男.....	54	10	62(1194)
『乳幼児突然死症候群 (SIDS) 対策強化月間 (11/1～11/30) に寄せて』 那覇市立病院 小児科 新垣 洋平.....	54	11	40(1276)

//////////////////// 総目次 //////////////////////

	Vol.	No.	頁(通巻頁)
医療安全推進週間に寄せて			
..... 琉球大学医学部附属病院 安全管理対策室 奥村耕一郎.....	54	11	42(1278)
Undetectable = Untransmittable			
.....琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座 仲村 秀太.....	54	12	62(1384)
新春干支随筆			
七回目の戌年を迎えて感有り.....	久場 長毅.....	54	1 119 (119)
戌年にちなんで(思い出).....	岸本外科医院 岸本 幸治.....	54	1 120 (120)
幼き日のことー与那国島のカジキ漁ー.....	おおうらクリニック 内科 大浦 孝.....	54	1 121 (121)
トッシーブーシーズの開催.....	西崎病院 理事長 名嘉 勝男.....	54	1 122 (122)
<近況報告>えと(干支)は兄(え)と弟(と)の意.....	喜久村徳進.....	54	1 123 (123)
戌年生まれの人生.....	南部徳洲会病院 赤崎 満.....	54	1 125 (125)
60歳でマラソン完走.....	中頭病院 耳鼻咽喉科 糸数 哲郎.....	54	1 126 (126)
将来の予想.....	古堅ウィメンズクリニック 古堅 善亮.....	54	1 127 (127)
今日までそして明日からも.....	浦添総合病院外科 長嶺 義哲.....	54	1 128 (128)
「追悼!日野原重明先生」~105年の人生を生き切る!~			
.....てるや整形外科 照屋 勉.....	54	1	129 (129)
「還暦前にマラソンへ挑戦しよう」			
.....沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 岸本 信三.....	54	1	130 (130)
還暦を前に思うこと.....	みゆき小児科 山川美由紀.....	54	1 131 (131)
「沖縄に帰って早10年」			
.....耳鼻咽喉科・頭頸部外科 さきはまクリニック 崎浜 教之.....	54	1	132 (132)
「戌年に因んで」.....	名護療育医療センター 泉川 良範.....	54	1 133 (133)
“「還暦」と呼ばれる人生二度目のスタートライン”			
.....医療法人こころ満足会 形成外科 KC 新城 憲.....	54	1	134 (134)
新春干支随筆.....	那覇市立病院 比嘉 南夫.....	54	1 135 (135)
戌年に因んで.....	沖縄県立中部病院 整形外科 池間 正英.....	54	1 136 (136)
「私の健康法」.....	ゆいクリニック 島袋 史.....	54	1 137 (137)
新年の抱負.....	那覇市立病院 麻酔科 比嘉 達也.....	54	1 138 (138)
人生の転機 ~かけがえのない仲間との絆~			
.....北部地区医師会附属病院 循環器内科 科長 蘆田 欣也.....	54	1	139 (139)
戌年に因んで.....	ちばなクリニック 小田口尚幸.....	54	1 140 (140)
今年の抱負.....	沖縄県立中部病院 救急科 宜保光一郎.....	54	1 140 (140)
「沖縄最北端の診療所から新年のあいさつ」			
.....国頭村立東部へき地診療所 垣花 一慶.....	54	1	141 (141)
緑陰随筆			
フレイル予防で長寿を果たす.....	稲福 全三.....	54	8 73 (961)
『私の人生』.....	沖縄県健康づくり財団附属診療所 大城 盛夫.....	54	8 73 (961)
私の旅の楽しみ方.....	沖縄県立中部病院 腎臓内科 上原 元.....	54	8 74 (962)

総目次

	Vol.	No.	頁(通巻頁)
「父との思い出」……………県立八重山病院 今村 昌幹……………	54	8	75 (963)
はじめてのロシア旅行……………あかみねクリニック 院長 赤嶺 弘……………	54	8	76 (964)
気になっている場所……………沖縄セントラル病院 内科 石田 眞一……………	54	8	77 (965)
眠れぬ夜の既往歴……………那覇市保健所 東 朝幸……………	54	8	78 (966)
グルメの国、台湾へ出かけてみませんか?……………さつきクリニック 上原 剛……………	54	8	79 (967)
PTP 研究会報告……………今井内科医院 今井 千春……………	54	8	81 (969)
シンガポールでの医療風景……………豊見城中央病院 池原 泰彦……………	54	8	82 (970)

随筆

エッセイ 二題……………同仁病院小児科 大宜見義夫			
1. 「飛び込んだら許してくれますか」一若き日の短慮暴発一……………	54	2	98 (264)
2. 三歳児のフラッシュバック……………	54	2	99 (265)
ヴェトナムにおける疫学調査—肝炎ウイルス/レトロウイルスを調べて……………			
……………与勝あやはしクリニック 中田 進……………	54	2	100 (266)
幼少期の回顧と趣味との出会い……………宮良クリニック 上原 哲夫……………	54	2	102 (268)
初めての与那国島 ～離島の医療体制を考える～……………			
……………公立久米島病院 内科 久田 友治……………	54	3	84 (376)
美ら島・美ら海……………八重瀬会 同仁病院 上原 久幸……………	54	3	86 (378)
ねんりんピック秋田 2017 に参加して……………ハートライフ病院外科 奥島 憲彦……………	54	4	88 (492)
これまでの歩みと現代医学についての考察……………佐久本卓哉……………	54	5	60 (572)
雪国からの脱出—北陸珍道中—……………			
……………社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院 久場 良也……………	54	5	62 (574)
台湾の医療事情—日本との比較—……………			
……………くばがわメディカルクリニック 久手堅憲史……………	54	6	129 (731)
「100 年人生時代」に備えて……………敬愛会中頭病院 新里 敬……………	54	6	132 (734)
成熟社会をむかえて～医師の卒前教育・卒後研修・生涯学習雑感～……………			
…琉球大学医学部附属病院 沖縄県地域医療支援センター 副センター長 川妻 由和……………	54	7	102 (862)
“クラシックカー道楽”……………新里眼科医院 新里 学……………	54	9	106(1104)
麵喰い三昧……………田崎病院 仲本 晴男……………	54	10	76(1208)
ゴルフを人生の一部として生涯愉しみたい……………浦添総合病院 福本 泰三……………	54	11	52(1288)
私の医師人生……………ハートライフ病院 仲村 義一……………	54	11	54(1290)
沖縄ステーキ物語～喜界島からの料理人と A サイン～……………			
……………ながた内科クリニック 長田 光司……………	54	12	74(1396)

広報委員の新春の挨拶

新春の挨拶……………広報担当理事 本竹 秀光……………	54	1	159 (159)
2018 年広報委員新年のあいさつ……………広報副担当理事 白井 和美……………	54	1	159 (159)
戊戌の年を迎えて……………広報委員 (北部地区医師会) 出口 宝……………	54	1	160 (160)
歓喜……………広報委員 (中部地区医師会) 兼城 賢作……………	54	1	160 (160)
～人生初の～……………広報委員 (浦添市医師会) 藏下 要……………	54	1	161 (161)

//////////////////// 総目次 //////////////////////

	Vol.	No.	頁(通巻頁)
初夢..... 広報委員(那覇市医師会) 玉井 修.....	54	1	162 (162)
今年の干支は戌..... 広報委員(那覇市医師会) 真志取浩貴.....	54	1	162 (162)
「達心志」と「僥倖」..... 広報委員(南部地区医師会) 照屋 勉.....	54	1	163 (163)
2018年 新春雑感(国療沖縄公務員医師会) 河崎 英範.....	54	1	163 (163)
新春の御挨拶 イノベーション推進を目指して 広報委員(琉球大学医師会) 清水 雄介.....	54	1	164 (164)
「金」→「北」→金!? 広報委員(公務員医師会) 金城 正高.....	54	1	165 (165)
新年のご挨拶..... 広報委員会(那覇市立病院医師会) 間仁田 守.....	54	1	166 (166)

編集後記

..... 広報委員 河崎 英範.....	54	2	126 (292)
..... 広報委員 玉井 修.....	54	3	112 (404)
..... 広報委員 金城 正高.....	54	4	108 (512)
..... 広報委員 兼城 賢作.....	54	5	90 (602)
..... 広報委員 照屋 勉.....	54	6	158 (760)
..... 広報委員 清水 雄介.....	54	7	128 (888)
..... 広報委員 本竹 秀光.....	54	8	110 (998)
..... 広報委員 間仁田 守.....	54	9	134 (1132)
..... 広報委員 出口 宝.....	54	10	104 (1236)
..... 広報委員 白井 和美.....	54	11	86 (1322)
..... 広報委員 藏下 要.....	54	12	112 (1434)

〈以下のコーナーについては、ページ等の詳細は省略いたします。〉

会務のうごき (会長・副会長室、理事会、県医日誌)、 **感染症情報**、 **会員の動き**、

講演会・例会のご案内、 **産業医研修会のご案内**、 **ICLS コースのお知らせ**、

災害医療研修会のご案内、 **医療勤務環境改善支援センターからのお知らせ**、

おきなわ津梁ネットワークからのお知らせ、 **沖縄県ドクターバンクからのお知らせ**、

日本医師会「医師年金」のご案内、 **沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課からのお知らせ**

生涯教育／プライマリ・ケア

平成 29 年 7 月 1 日

○字数制限

生涯教育 6,000 字以内とし、冒頭に 400 字程度の要旨をつけて下さい。

プライマリ・ケア 2,500 字以内

(図表 1 枚を 400 文字数に換算する必要がある)

○内容

生涯教育は、原則学術・実地医家にとって有用性の高い総説論文

プライマリ・ケアは、病診連携、病病連携等に資していただけるような、日常的な症状に関するミニレクチャー的な内容。

○原稿の書き方

①原稿はできるだけ Word、Excel、PowerPoint にて作成して下さい。

②原則として常用漢字、現代かな使い、算用数字を使用して下さい。

③図、表、写真の挿入場所を文中に指定して下さい。

④図表にはタイトルをつけてください。

⑤写真、図、表は原則として 10 枚以内とし、そのまま製版出来る鮮明なもので、特に写真は明瞭なものでご提出下さい。

⑥人を対象とした研究については、ヘルシンキ宣言を遵守したものであること、また症例を提示する際(症例報告)は、患者さんのプライバシーの保護やインフォームドコンセントなどに関する倫理的な問題に十分配慮されていること。

個人が特定され得る疾病に関しては、本人の同意を得るようご配慮下さい。

○文献

引用文献は最小限度(原則として 10 以内)とし、論文中にでてくる順に番号をつけ、末尾に以下の形式で一括して下さい。本文中には、引用部の右肩に 1) 2) 3) …の番号を付して下さい。引用の図表は出典を明記して下さい。

著者は複数の場合は筆頭者、他で記入下さい。

引用文献の記載項目並びに順序

○雑誌の場合

著者名：論文題名、雑誌名、発行年；巻：ページ。

Ahonkhai VL, et al : Failure of pneumococcal vaccine in children with sickle-cell disease. N Engl J Med 1979 ; 301 : 26-27.

○単行本の場合

著者名：書名。(版数)、発行所、発行所の所在地、発行年；引用ページ。

Koch FC, et al : Practical Methods in Biochemistry. 2nd ed, William Willkins, Baltimore, 1948 ; 212 (or 212-215) .

○シリーズなど

執筆者名：執筆部分題名、編者名、シリーズ名、巻数、発行所、発行地、発行年；引用ページ。

Kovec A : The liver and spleen. ed Bolinger RE, In Guide to Diagnostic Imaging, vol 1, Medical Examination Publishing Co Inc, New York, 1982 ; 123-140.

○ウェブサイトの場合

執筆者名(編者名)：サイト名、URL (最終閲覧日)

運動器の 10 年・日本協会：学校での運動器検診の手引き。http://www.bjd-jp.org/medicalexamination/guide_0.html (2016 年 8 月 16 日閲覧)

月間(週間) 行事お知らせ

○字数制限：2,000 字以内

○内 容：医療関係の行事等について

発言席

○字数制限：2,500 字以内

○内 容：会員の先生方のご意見や主張等

勤務医 / 臨床研修医

○字数制限：勤務医 2,000 字以内、臨床研修医 1,500 字以内

○内 容：勤務医・臨床医の先生方からのご意見・ご要望

地区医師会

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各地区医師会の活動状況
(例：テレビ番組やラジオ番組の放映、かかりつけ医推進事業等の厚労省モデル事業や独自の院内活動等)

若 手

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：今後の進路を決める先生方へのアドバイス等について（若手医師への提言、日常診療のコツ、開業顛末記等）

随筆 / 新春干支随筆 / 緑陰随筆

- 字数制限：随筆 2,500 字以内、新春干支随筆・緑陰随筆 1,500 字以内
- 内 容：日常診療のエピソード、青春の思い出、一枚の写真、趣味などの他、紀行文、特技書評、新年の抱負など

本の紹介

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：感動した、生き方が変わった、診療が変わった、新たに真実を知った本等々、会員の皆様の座右の本の紹介

いきいきグループ紹介

- 字数制限：1,000 字以内
- 内 容：各研究会、スポーツ同好会や摸合等の活動紹介

身近な闘病記

- 字数制限：2,000 字以内
- 内 容：ご自身又はご家族の病気療養の経験談について

追悼文

- 字数制限：1,500 字以内
- 内 容：お亡くなりになられた先生への追悼

広 告

- 沖縄県医師会報の品位、及び体制を損なわぬものとし、採否については広報委員会で審議のうえ決定する。

投稿の方法

1. 会報への投稿の第一執筆者は、原則として沖縄県医師会会員であること。
2. 原稿には題名、氏名、勤務先(所属)を明記して下さい。
3. 図・表・写真は原則モノクロ掲載とし、カラーの場合は実費をご負担願います。
4. 送付方法は出来ましたらメール送信又はCD-R等での送付をお願いします。
5. 同一会員の原稿掲載回数は、1期(4～7月号)、2期(8～11月号)、3期(12～3月号)の各期ごとに1編のみ。
6. 写真の解像度は350以上をお願いします。表紙写真に関しては、会員本人撮影のものとする。
7. 掲載の採否は広報委員会で決定し、内容によっては原稿の修正等をお願いする事があります。

著作権

本誌並びにホームページに掲載される著作物の著作権は沖縄県医師会に帰属します。

送付先・問い合わせ先

沖縄県医師会 庶務課
〒901-1105 南風原町新川 218-9
TEL：098-888-0087 FAX：098-888-0089
E-mail：kaihou@ml.okinawa.med.or.jp

いよいよ平成の時代も残り数ヶ月となり、早いものでもう今年最後の沖縄県医師会報の発行となりました。1年間表紙を飾ったピンク色も今月号で見納めとなります。

まず、今月号は音楽の都プラハの夜景が表紙を飾ります。冒頭の平成30年度第2回沖縄県・沖縄県医師会連絡会議の報告では、1)小児個別予防接種における県内接種費用の統一について、2)臨床研修事業について、特に新専門医制度導入後、沖縄県内に残る専攻医が減少している問題と対策について、3)遠隔診療について、沖縄県と沖縄県医師会との意見交換の内容が報告されています。第12回沖縄県女性医師フォーラムの報告では「外科系女性医師のワークライフバランスとキャリアアップに関する調査」の結果報告がされており、大変興味深い内容となっています。また現場の女性外科系医師の報告やグループ討論と総合討論を通して、女性医師のみならず医師全体の働き方改革も併せて考えていくことが重要であることが話し合われていました。また17名参加していた女子医学生からは学生の立場から率直な意見が挙がっていました。平成30年度第1回都道府県医師会長協議会の報告では、医師の働き方改革、災害医療対策、地域医療構想の議論の活性化、消費税対策など多岐にわたる問題について議論が行われていますのでご一読いただきたいと思います。「死体検案研修会(基礎)に参加して」と題した椎名先生と池原先生のご報告では、お二人とも死亡時画像診断(Ai)の重要性について強調されていました。平成30年度第2回マスコミとの懇談会「医師の働き方改革について」の報告では本竹先生の講演の内容とその後のマスコミ関係の方々との質疑応答の内容が掲載されています。マスコミの方からは、医師という職業は医師となった後もずっと勉強していかなければならず、日常診療以外にも自己研鑽として多くの時間が費やされてい

ることが理解できたとの意見がありました。また医師会からの要望として、病院の診療時間外の受診や夜間に緊急性のない受診等についてはなるべく控えていただき、医師の長時間労働につながらないようにマスコミの方々から県民の皆さんに周知してもらいたいという意見が出されています。生涯教育として県立中部病院の宮里先生には「臓器提供について本邦の現状」と題して執筆していただきました。臓器移植に関する本邦の現状と問題点を多くのデータを示していただきながら、本邦と海外の比較や宗教観の違いなどの話も交えて、わかりやすく解説していただきました。プライマリケアのコーナーでは、那覇市立病院の上原先生に大変興味深いタイトルで執筆していただきました。「Strain vessel」をキーワードに蛋白尿と腎臓病との関係、更に脳・心血管障害との関連についても解説されています。今月のインタビューのコーナーでは表紙の写真も投稿されている、南部地区医師会会長 安里良盛先生にご登場いただいております。月間行事お知らせコーナーでの、琉球大学の仲村先生の「U=U」のお話はHIV陽性者に対する我々の認識を一変させられるような内容です。ぜひご一読いただければと思います。

この一年、沖縄県医師会報そして県内新聞両紙への医療情報の提供など、今年も多くの会員の先生方に執筆のご協力をいただきました。この場をお借りして御礼を申し上げます。一方、最近執筆していただける先生が少し減ってしまっていることが広報委員会として懸念材料となっているところでもあります。会員の皆様、大変ご多忙の中とは存じますが、事務局より原稿執筆の依頼がございましたら、ぜひご協力いただきます様よろしく申し上げます。

広報委員 藏下 要